

日本学術会議 社会学委員会 社会福祉学分会
(第24期・第8回)
議事録

日 時：2019年12月27日(土) 14時00分～16時45分

場 所：法政大学ポアソナードタワー16階

出席者：岩崎晋也 白澤政和 原田正樹 大和三重 和気純子 住居広士
金子光一 竹本与志人 岩永理恵 (9名)

欠席者：稲月正 須田木綿子 平岡公一 牧里每治 野口定久 湯澤直美 保正友子

記 録：岩永理恵

<議題>

1. 公開シンポジウムの検討：岩崎晋也
 - ・ 会場について
 - ・ 趣旨、各登壇者の報告内容について確認。

2. 社会教育の現状と課題～福祉問題・社会福祉との関係をめぐって 松岡広路教授(神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
 - ・ 社会教育の実際、現実を述べる。おそらくは、社会福祉、福祉教育の実際と同じで、システム、仕組みにコミットする実践が目指されてる。
 - ・ 社会教育概念の拡張：実践フィールドの多様化——その領域、推進・支援主体、学習主体(≡教育主体)、方法の特徴、価値、施設、学習課題
 - ・ 現代的課題に対応した社会教育の現状：中心軸としての福祉課題
 - ・ 資料1 中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」、資料2 地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会「新たな包括的な支援の機能等について」、両者のイメージが重なりつつある。
 - ・ 質疑応答

3. 全体議論

※次回委員会：2020年2月を予定(後日、メール上で審議)

以上